



10月4日から7日にかけて、東京都大田区の京浜南運河特設カヌー会場にて第68回国民体育大会が開催されました。今回私は、500㍎と200㍎のシングルに出場し、共に2位という結果でした。

去年まで日本カヌー界を世界で牽引して下さった大先輩（ロンドン五輪でペアを組ませて頂いた北本選手）が1年前に引退され、次は私が女子チームを引っ張っていく存在でありたいと思っておりましたし、国内では圧倒的な強さを見せ、優勝のみを頭に描いていたのでこの結果に終わってしまった事は一言に悔しかったです。

結果以上に、今回は今の自分の弱さが出てしまったレースだったと感じているので、自分が納得できる形に持っていけなかった事も非常に悔しく思います。8月の世界選手権後のシーズンは全て調子を崩し、自分に納得することができませんでした。

トップ選手として、どのような状態であっても強さを発揮できるまでのレベルになりたいと今シーズンを終えて強く感じたので、今回見えた自分の弱さの問題点にしっかりと向き合っ、修正していきたいと思えます。

その一方で、国内でライバル達が力をつけて来ている事には喜びも感じています。共に世界に挑む仲間として、成長し切磋琢磨出来る存在がいる事は心強くありがたく思えます。またチームメイトが努力した分、成果は出るという事を改めて証明してくれたので、また11月から始まる強化合宿では気合いを入れ直して、真剣に向き合い、取り組んでいきたいと思えます。ですが、やはりチームメイトであってもライバルには変わりないので、来シーズンはタイトルを奪還します。

国民体育大会は私にとって県代表として戦う特別な試合でした。静岡県に一番いい形での貢献が出来ず、申し訳なく感じています。今回は静岡県から比較的近い東京都で開催された大会だった事もあり、町や県内から多くの方が来場し、応援していただきました。とても心強くうれしく思いましたが、結果でお返しする事が出来ませんでした。次回はしっかりと結果を残し、応援して下さいと思います。これからが本当の勝負となるので、しっかりと精進していきます。ご声援ありがとうございます。

大村朱澄選手

(早稲田大学4年=田代)

▶種目：成年女子、カヌースプリント・カヤックシングル

▶結果：
200㍎決勝 2位
500㍎決勝 2位



大村朱澄選手は2種目に出場、共に惜しくも2位

HighLight

今月の
注目

3

スポーツ祭東京 2013 で 町内出身 4 選手が出場

スポーツ祭東京 2013（東京国体）が開催され、町内からカヌースプリントに3選手、カヌーワイルドウォーターに大村朱澄選手の兄である真澄選手が初出場し、カヤックシングルで決勝 12 位の成績を収めた。

10月4日、雨の中行われたカヌースプリントに出場した3選手をレポートする。



井澤一彰選手（日本体育大学2年＝徳山）

- ▶種目：成年男子、カヌースプリント・カナディアンシングル
 - ▶結果：200m準決勝敗退・500m準決勝敗退
- 「気が付いたらゴールしていた。風がなかった分、長く感じたレースだった。後半伸びず力負けしてしまい悔しい」



鈴木達也選手（川根高校3年＝梅高）

- ▶種目：少年男子、カヌースプリント・カヤックシングル
 - ▶結果：200m準決勝敗退・500m準決勝敗退
- 「スタートでつまずき一気に出られず、置いていかれ悔しいレースだった」